

【社会科編】

1 家庭学習でできること

① 教科書でできる調べ学習（予習）

社会の教科書は最初にそのページで学ぶ**学習課題**が載っているので確認します。



この資料から分かることは？

何のためにこれが載っているんだろう。

「確認しよう」「説明しよう」もやろう。

この2ページを例にとると、読みこみながら、最終的に学習課題「奈良時代の土地制度、税制度は人々の生活にどのような影響を与えたのでしょうか。」に対する「答え」を見つけ出していきます。「奈良時代は〇〇な制度があって、その結果人々の生活は△△になった。」と、自分でまとめられたら素晴らしいです。

この〇〇や△△の部分は教科書で太字になっている重要語句や写真、表、資料などを中心に読み取っていきます。ぐちゃぐちゃになってしまってもいいので、自分なりにノートにまとめてみるとよいと思います。

② 問題に取り組む

ワークやプリントなどで理解しているか確認し、できなかつたらもう1回チャレンジ。

2 ポイント

☆社会科の重要用語（教科書の太字）は確実に知っておこう。

「墾田永年私財法」って単語だけ知ってても使えません。「墾田永年私財法って何？」と聞かれて答えられるようにしよう。さらに「なぜ墾田永年私財法が作られたの？」と掘り下げて学べるとBESTです！

☆資料に親しもう。

グラフや表、気温図などの特徴は？そこから何が分かる？社会科は資料（社会的事実）から仕組みや特徴、当時の人々の願いや工夫を解き明かしていく学問です。

☆ニュースはよく見ておこう。

時事問題についてどう考える？世の中のあらゆる動きに対して、勉強してきたことを基にどう判断できるようになるか、選挙にいった時に何を基準に1票を入れるのか自分で決められるようになるのが社会科を勉強する大きな目的の1つです。

3 休校中だからこそできること

休校で時間があるからこそ「好きな歴史上の人物・出来事」を調べてまとめてみたり、「行ってみたい国や地域の仮想旅行計画」を立てて将来の実現を目指してもいいですね♪